

あーばんとーく

平成 11 年 8 月号 (通巻 第 24 号)
 発行：財団法人 神戸市都市整備公社
 こうべまちづくりセンター
 〒650-0022
 神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号
 電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
 URL: <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

ネットサーフィンでまちづくり情報をのぞいてみよう!

こうべまちづくりセンターでは、平成 10 年 12 月 25 日から「まちづくりセンターホームページ」を開設し、インターネットを通して、センターが行う各種の催しや「こうべまちづくり会館」の利用に関するご案内をしております。さらに本年 5 月からは「まちづくり情報」ページの充実を図り、サービスを提供しています。インターネットで手軽にアクセスできますので、ぜひ、一度、ネットを通して「センターホームページ」をおたずねください。ここでは、「センターホームページ」の内容を簡単にご紹介します。

「こうべまちづくりセンターホームページ」にアクセスするための URL は、

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

です。この URL をタイプしてリターンキーを押すと次の画面があなたのモニターに出てきます。



HP の主な内容は、

- ・まちづくり会館の施設利用案内
- ・まちづくり大学などの開講案内
- ・まちづくりセミナー等の開催案内
- ・まちづくり専門家派遣制度等のご案内
- ・あーばんとーくの記事情報
- ・まちづくり情報

画面のご覧になりたいところをマウスでクリックすると、次々に画面が現れます。このような操作を繰り返すことによって、多くのページをご覧いただくことができます。

「こうべまちづくりセンター」では、特に阪神淡路大震災以降、専門家派遣やまちづくり活動助成等を行うほか、まちづくり大学や市民安全まちづくり大学を開講したり、まちづくりセミナー、まちづくりワークショップ等の「まちづくりイベント」を企画・運営する

など、まちづくりに関わる多種多様なサービスを提供してきました。さらに、これらの事業を通して得られた情報ははじめ、多くのまちづくり関連情報を収集・整理し、市民の皆様にご利用いただけるようなシステムを整備中です。その内の一部をHPに掲載し、お手軽に利用していただけるようにしました。まだ、完全なものではありませんが、今後さらに充実したシステムに育てていきたいと考えています。皆様方のご支援をお願いいたします。



- | | | |
|------------|----------|--|
| センターの5つの機能 | 1 情報の提供 | ・まちづくり情報システム ・まちづくり情報センター ・センターニュース「あーばんとーく」 |
| | 2 地域への支援 | ・まちづくり活動助成 ・空知座車庫跡スポンジ館生事業 |
| | 3 人材の育成 | ・復興まちづくりセミナー ・まちづくり大学(専門講座) ・市民安全まちづくり大学 |
| | 4 施設の利用 | ・こうべまちづくり会館の概要 ・平成10年度ギャラリー展示一覧 |
| | 5 調査・研究 | ・まちづくり研究員制度 ・研究論文など |

提供 (財) 神戸市都市整備公社 こうべまちづくりセンター
 〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2番14号 E-地図
 TEL: 078-361-4523 FAX: 078-361-4546

上にご紹介した「まちづくり情報HP」は、膨大な情報の一部です。情報の量的な制約からすべてをHPに掲載することはできません。「こうべまちづくり会館」の中にそれらの情報をご覧いただけるシステムを整備しているところです。「こうべまちづくり会館」にも、ぜひ、お立ち寄りください。

☆さまざまな災害・防犯への理解を深める ～入門講座ダイジェスト～

専門家による講演会の形式で、防災や防犯などについて専門的な知識を習得する「入門講座」。

第2期こうべ市民安全まちづくり大学の後半4回の講座では、さまざまな災害・防犯対策について学んできました。以下に、講座の内容をダイジェストでお伝えします。

① 第4回 防犯対策（12月3日・都市防犯研究センター 田中 義恭 事務局長）

防犯対策には、建物や街路など、ハード面での環境設計と住民や警察、地方自治体などによるソフト面での活動がある。いくら住宅の出入口や窓の錠、ガラスなど対象物を強化しても、窃盗犯の技量が上回ってれば破られてしまう。一人ひとりが犯罪への備えをすることは大切であるが、防犯は自分の家だけでなくまち全体で考えなければならない。

隣近所の付き合いのある生き生きしたまち、互いに死角を

つくらないよう整然とつくられたまち、街灯や街路樹などが市民の手で保たれているまち、こういったまちは犯罪の被害にあいにくい。具体的には、家を建てる時に周辺の防犯環境に配慮する、各家庭が協力して夜道を明るくする、違法駐車や違法駐輪の芽を早めに摘む、などの取り組みが考えられる。市民がお互いに協力し合って、このようなまちを築いていく努力が大切である。

② 第5回 危機管理（1月7日・京都大学防災研究所 林 春男 教授）

神戸は、阪神・淡路大震災を経験した。あのようなことはもう1000年は起きてほしくないが、いずれまた、形を変えた危機は必ず訪れるだろうと思う。

震災は、私たちに大きな教訓を残してくれたが、地震だけでなく、いろいろな危機（防災、防犯、福祉、あるいは健康、環境）について備えておくことが大切である。

危機管理には、ハード・ソフト二重の備えが必要で、また、両方を同じウエイトで考えなければならない。

＜危機管理のために考えておくこと＞

1. 何を目標とするか、何を守りたいのか
2. 目標の達成をはばむ問題は何か
3. その原因は何か
4. 問題の発生を予防するために何をすればよいか
5. 万一、問題が発生した時、影響を最小限にするために何をすればよいか

③ 第6回 ライフライン（2月4日・神戸大学工学部 高田 至郎 教授）

～ライフラインとは～

1. エネルギー供給システム(電力、ガス等)
2. 水の供給・処理システム(上下水道、河川等)
3. 交通システム(道路、鉄道、空港、港湾等)
4. 情報伝達システム(電話、電報、メール等)

阪神・淡路大震災で、ライフラインの復旧には、電気で1週間、電話で2週間、水道が70日、ガスが90日かかった。現在の日本では、ライフスタイルの変化や地域コミュニティの再構築、産業全体における構造転換などが、日本全体の変わり目になっている。そうしたなかで、ライフラインでは、地域の生活圏、家庭内における供給処理システムなどが重要視される時代になっている。それによってライフラインがたとえ被災しても、代わりになるものが地域の中で機能することが期待できる。

④ 第7回 安全・安心コミュニティ（3月4日・神戸大学都市安全研究センター 室崎 益輝 教授）

安全なコミュニティづくり、まちづくりを進めるうえで心にとめるべき言葉を、12のキーワードとして紹介。

1. 安心コミュニティの必要性

- ・自給自衛…自分で出来ることは自分でする
- ・相互扶助…いざとなると、自分以外で頼りになるのは家族や隣近所による助け合い
- ・即地即応…すばやく正確な対応が大切だが、それができるのは地域の人しかいない
- ・自律共制…お互いに信頼感があるからこそ、よりよいまちづくりのために自制心が働く

2. 安心コミュニティの目標と課題

- ・事前防備…事後の取り組みも大切だが、それ以上に大切なのが事前の取り組み
- ・共存共栄…互いに質の異なるものが補い合い、支え合う関係をつくり出す
- ・防災文化…地域に根ざした防災につながる文化を後世に継承すれば、大きな財産となる
- ・環境創造…災害に強い地域環境の創造に心掛ける

3. 安心コミュニティの実現に向けて

- ・人材養成…防災の努力を市民が継続的に続けるためにはリーダーが必要
- ・情報共有…防災に関わる情報を地域社会の中で共有することが必要
- ・地域関与…地域に関わり合う時間やきっかけ（イベントやお祭り）を増やす
- ・結縁運動…地域の安心ネットワークをつくり、相互に連携できるようにする

まちづくりのきっかけづくり(1)

前回は、まちづくりの概念について、雑感を述べたが、今回からは実践例を紹介しながら皆さんと一緒にまちづくりを考えて行きたい。最初は、前回紹介した「まちづくりのプロセス図」のうち、「まちづくりのきっかけづくり」について考えたい。

まちづくりの実践にあたっては、とかく行政側でスケジュールを組んで一連の厳密なプロセスのもとに推進していくべきものと考えられがちである。しかし、課題集中地域において、将来の都市計画事業を前提とする場合はともかく、住民主体のまちづくりにおいては、まちづくりについての住民自身のニーズの発見・発意を優先するべきである。また、そのための「きっかけ」としては、あらゆる手段・しかけが考えられるが、前述のプロセス図では、「まち資源の発見・発掘」「マップづくり」「イベントの実施」をその代表的な手段としてあげた。その一つとして、まず中央区連合婦人会の皆さんが企画・発行した「おばさまマップ」を紹介したい。

○おばさまマップ（おばさんが語る神戸〔中央区〕の歩き方マップ）

「おばさまマップ」は、私が中央区に赴任した平成9年の11月に発行したもので、20ページカラー刷りのポップな雰囲気のみち歩きを楽しむための案内地図である。（写真参照）。



この発端は、中央区連合婦人会長の、「震災後3年を迎え、お世話になった全国の方々が観光客として来神された際、少しでもまちかどのガイド役としてお役に立ちたい。そのためのマップをつくってみたい。」という言葉であった。これに対し、区役所としてもその趣旨に賛同し、お手伝いをしたのであるが、行政自らが勝手に作成するのはわけが違う。なにしろ、中央区連合婦人会と一口に言うが、概ね小学校区を基礎とする16単位、5000人の大所帯であるうえ、皆さん地元情報には詳しいが、マップづくりという点では当然素人である。そこで、できるだけ多くの会員が参

加し、地元情報が得られるようアンケート調査を実施したところ約400件の貴重な情報が集まった。また、編集会議も「婦人市政懇談会」の機会も利用することで42回を数えることができた。さらに、自分たちも実際に歩いて勉強しようということで、中央区を3つのコースに分けて、深江生活文化資料館の道谷先生の指導のもと歩いて巡ることにした。その結果、「50年も住んでいたのに近くにこんな良い所があるのを知らなかった。」という声もあり、反響は上々であった。その中で苦勞したのが「おばさまおすすめのお店」の選別であった。ご婦人方は、グルメ派が多いのか、膨大な数のお店の推薦があり、中には、地元のお店の顔を立ててというのもあって、選別は難航した。結局、1ステージ（地域）のなかで、原則一品種一店という基準をつくって、会員みんなで手分けして試食して巡り、その結果をもとに決定した。私も昼休み毎に20数回食べ歩いた結果、少し腹まわりが太目になってしまった。このほか、表題も「おばさん」「おばちゃん」で意見が分かれたり、セクハラに該当しないか心配したり、今では懐かしい思い出である。

その成果を総括してみると、まず第一に、婦人会自らの発意・企画のもと自主事業として取り組めたということがあげられる。婦人会の皆さんは本当に日夜、地域活動にご苦勞頂いているが、どちらかと言えば行政のお手伝いという立場が多く、自らの発意・企画したことが、形になったということは大きな自信になり、その後のまちづくり活動に結びつくことになった。例えば、マップづくりだけでなく、自分たちの手でまちを良くしていこうということで、各ステージ「おすすめの散歩道」を歩いてチェックし、行政への改善案を提出する一方、自らも手づくり案内板や道標などを整備する「おばさんまちかど探検隊」の活動や福岡県八女市（やめし）との交流活動などがそれである。

成果の第二としては、行政側としても特色づくりが可能ということである。作成の手続きの手間を考えれば、90%までは行政サイドで作成する方が効率的であるが、残りの10%は、行政だけでは到底不可能な特色づくりが可能となる。その良い例として、前述の「おすすめのお店」の紹介などは、苦情のことなどを考えるとまず行政主導ではできなかつたと思われる。

このほか、マップづくりでは、「葺合わがまち便利帳」（葺合市場商店街連合会作成）なども、その後の一連の復興住宅住民のウェルカム運動に結びついた。

（前中央区まちづくり推進課長・現教育委員会社会教育部
体育保険課長 見 通 考）

まおセン ライブラリーニュース

こうべまちづくりセンター図書室
 まちづくり会館 4階・TEL. 361-4523
 開館時間：午前10時～午後6時
 休館日：毎水曜日・年末年始

新着図書のご案内

| 図書名 | 著者・編者 | 発行元 | 発行年月 |
|--------------------------------|------------------------|-----------------|---------|
| 1 まちづくりの実践 | 田村 明 | 岩波書店 | 1999年5月 |
| 2 灘区の町名 | 有井 基 | 神戸市灘区役所まちづくり推進課 | 1990年4月 |
| 3 灘区の歴史散歩 | - | 神戸市灘区役所まちづくり推進課 | 1990年4月 |
| 4 密集市街地整備法の解説 | 建設省都市局・住宅局密集市街地整備研究会 | 大成出版社 | 1990年8月 |
| 5 阪神・淡路大震災復興誌 (第3巻) | 震災復興誌編集委員会 | 阪神淡路大震災記念協会 | 1999年3月 |
| 6 日本の地震活動 - 被害地震から見た地域別の特徴 - | 総理府地震調査研究推進本部地震調査委員会 | - | 1999年3月 |
| 7 安全と再生の都市づくり - 阪神・淡路大震災を超えて - | 日本都市計画学会防災・復興問題研究特別委員会 | 学芸出版社 | 1999年2月 |
| 8 新こうべ花の名所50選 神戸花物語 | 神戸市公園緑化協会 | - | 1999年4月 |

当センターにふさわしい図書・資料をご紹介します。担当、橋本まで

まちづくり会館からののお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

| 期 間 | 内 容・テ ー マ | 主 催 者 |
|-----------------|------------------|-------------|
| 8月5日(木)～8日(日) | フォトサル UP! 第4回写真展 | フォトサークル UP! |
| 8月26日(木)～31日(火) | やってみ展(絵画) | 井上 八重子 |

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

| | | |
|----------------|---------------|-------------------|
| 8月2日(月)～31日(火) | 山麓リボンの道パネル展 | 神戸市都市計画局アーバンデザイン室 |
| 12月までの第2日曜日午後 | ペチュニアサロンコンサート | 元町4丁目商店街・アクス音楽院 |

イベント案内

| | | |
|---|-------------------|--------------|
| 8月22日(日) 午後1時から | 親子で歩こう Retro・Kobe | こうべまちづくりセンター |
| すでに申し込みのあった小学生を含む親子による、旧居留地を舞台としたまちの魅力再発見ウォーク | | |

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
 (こうべまちづくり会館 3F)
 電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584
 受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 祝日・土・日曜は
 まちづくり相談コーナー で受け付けます
 (こうべまちづくり会館 4F)
 時間は、午前10時～午後5時

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
 会報等の印刷サービスや学習会へのインストラクター派遣など
 受付は、午前10時～午後6時
 電話 078-361-4565



〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話 078-361-4523

FAX 078-361-4546